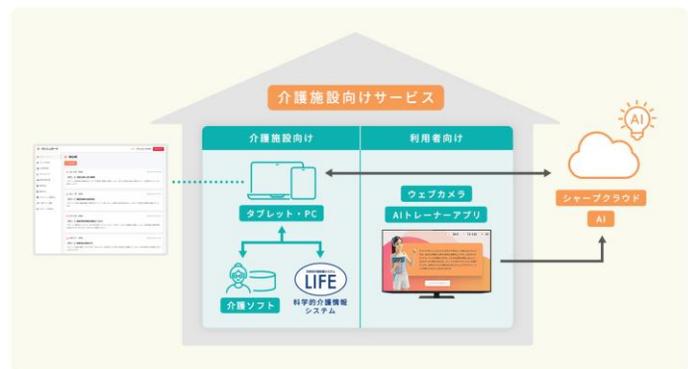


case 03

シャープ株式会社

プロジェクト名	AI介護機能訓練トレーナーの開発	
企業の所在地	大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号	
企業の事業概要	電気通信機器・電気機器及び電子応用機器全般並びに電子部品の製造・販売等	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設（通所介護、短期入所生活介護、介護老人施設、特定施設入居者介護）に勤務する介護職および機能訓練指導員
	想定顧客が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 【ノウハウ不足】機能訓練として歩行や姿勢の正確な評価が必要であるが、介護職に専門職のノウハウがない為に簡易的な測定が行われることが多い。 【業務負担が大きい】機能訓練計画作成や加算算定に伴う書類作成など、介護職の事務負担が大きい。また、リハビリ専門職が少なく、各高齢者に適した機能訓練を実施する時間を確保できず、画一的な訓練内容になりがち。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> カメラで取得した動画・画像をもとに、歩行や姿勢などの身体機能を分析し、理学療法士の知見と生成AIを活用した専門的なアセスメントを簡便に実施する機能。 AIによって利用する各高齢者に適した機能訓練プログラムの提案や、機能訓練計画書の作成支援を行うことで、介護職の業務負担軽減を図る。

開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント支援機能の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護現場で活用可能なカメラを用いた、姿勢・歩行分析等を行うフィジカルチェック機能 ◆ 対話機能を活用した、高齢者の生活機能ヒアリング機能 計画作成/実施訓練支援機能の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別機能訓練加算の算定を目的として、利用者情報、生活機能・興味関心チェックシート、アセスメント結果を分析し、個別機能訓練計画の作成を支援する機能 ◆ 高齢者向けの実施訓練として、理学療法士監修のもと作成した、カラダを使ったゲームコンテンツ・介護職向け介護Webソフトの開発 介護職向けの介護Webソフトの開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 株式会社ビーシステム（神奈川県川崎市）のアドバイスのもと作成した、事業者ごとに管理者・スタッフ・利用者情報を一元管理できる介護事業者向けWebソフト <p>➡これらの機能をテレビ端末上のアプリと介護Webを連携させサービスとしてパッケージ化</p>
------------------------------	--



左：機能訓練の実施イメージ、右：「介護向けAIトレーナー」構成イメージ

<問い合わせ先>

シャープ株式会社（担当：岳野）WEB：<https://corporate.jp.sharp/> メール：kaigo-ai-trainer@mail.sharp